福井県立勝山高等学校学校評価委員会

令和3年度 勝山高等学校 学校関係者評価書

観点	・学校評価書の成果と課題が適切かどうか ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か ・学校評価アンケートの実施方法と内容に関する問題点について ・その他
評価者	PTA会長・PTA副会長・同窓会長・同窓会副会長
ご意見 （学習指導）	・主体的な学習活動への取り組みが出来ていない生徒の割合が多く、その原因を明確にした上で改善策が必要と思われる。 ・「探究科」の新設が実りあるものになるように期待する。 ・主体性を活かしたプレゼンテーションや地域探究の分野で頑張っている姿が見られた。
ご意見 （図書指導）	・読書離れというより活字離れの生徒が多いと思う。読書習慣を定着させるためには、「中高生新聞」「漫画歴史本」など理解しやすい教材を利用して、少しでも時事問題や歴史などへの興味を持たせてはどうか。また、情報機器の活用として「電子図書」を準備して、いつでもどこでも読書出来る環境作りも有効と思う。 ・「読書離れ」、「活字離れ」を極力防ぐためにも朝読書は必ず継続して欲しいと思う。 ・教員が感銘を受けた本を紹介し、読書に関心を持ってもらえるようなイベントを実施して欲しい。 ・朝読書の取り組みには充実感がみられるが、本の内容はどうだったのか。 ・新聞に親しむ環境を考えて欲しい。
ご意見 （保護者との連携）	・確かにホームページの更新頻度が少ないように思われる。保護者からの要望にある学校行事予定も１月毎ではなく、学期毎の予定が入っていないと閲覧されないと思う。また、ホームページの更新を部分的に生徒に任せても良いのではないか。（校閲は必要でしょうが） ・ホームページの内容の充実にもう少し時間を割いてもらいたい。人手不足なら外部委託してみてはどうか。 ・ホームページの更新が大変ならばブログ等で発信したらどうか。 ・勝山市の広報にも掲載してもらえないか。 ・メールだけではなく、ホームページも十分に活用してもらいたい。 ・地域の方々から学校への提案などを受け付ければ、ホームページの充実につながるのではないか。
ご意見 （生徒指導）	・勝山高校生の挨拶にはいつも感心させられる。この姿勢を継続させてもらえれば充分だと思う。今後は、ＳＤＧｓへも積極的に参加し、持続可能な開発目標を設定し、人権意識や規範意識の向上に繋がってくれれば良い。 ・生徒の挨拶は概ねできているのに、教職員の取り組みが徹底されていないことは残念。 ・マスクを付けて表情がもわかりにくい今こそちゃんと挨拶をしたい。 ・基本的に、挨拶や交通マナーの遵守等は各家庭や地域の責任だと考えている。 ・人権への理解や思いやりの行動、いじめについても問題なく、教職員の真剣な姿勢に感謝している。
ご意見 （進路指導）	・「探究特進科」の新設により、勝山高校全体の学力向上に繋がることを期待している。 ・模擬試験を受けても１／３の生徒が振り返りをしていないのは残念である。 ・進学校として新しい探究科に期待したい。 ・どの質問にも「D（ほとんど取り組んでいない）」を選ぶ少数派の意見は本質をあらわしており、解決策を見いだせるのではないか。 ・保護者にも色々な進路情報を提供して頂きたい。 ・結果にこだわらず、良いと思ったことはどんどん進めて頂きたい。
ご意見 （保健管理）	・近年はコロナ禍の中、メンタル面で支障をきたしている生徒も多いと思われるので、メンタルケアに十分気を付けて、有意義な高校生活を送れるように指導してあげて欲しい。 中学校の統合で、いろいろな問題が取りざたされているが、生徒たちへの説明・フォローをしっかりして、雑音を取り除いてあげて欲しい。 ・目標指数は上回っているが、細かい場所にも目が行き届く清掃をしてもらいたい。 ・助けを求めてきた生徒には最後まで責任を持って対応していただきたい。 ・規則正しい生活を送れるような指導をお願いしたい。 ・体育館のトイレなど施設の改善を進めて欲しい。 ・夜間の街灯を増やすことはできないのか。
学校関係者評価の結果をふまえた今後について	保護者や同窓会をはじめ地域の皆様の本校に対する関心が非常に高いことが伺える。勝山市の中学校再編で勝山高校の在り方が注目されており、魅力ある高校になることへの期待が大きい。また、令和４年度から探究特進科が新設され、地域との連携が一層深まる。学校の取組みをより広く地域社会へ開き、地域社会を担う人材を育てていかなければならないと感じる。